

洪水・土砂災害からの
避難を考えよう！

マイ・避難マップ

マイ・避難マップとは？

マイ・避難マップは、洪水や土砂災害などの水害のときに、いつ、どのように対応したらよいかを検討できる地図です。



浸水の
水深が深いと
どうなるの？

自宅の一番上まで
水が来るかも。
どうしよう？

浸水が始まる前の
早めの避難が必要！



浸水が
長期間続くと
どうなるの？

長い間、
電気・ガス・水道が
使えなくなるかも。
どうしよう？

自宅にとどまるためには
十分な備えが必要！

避難所の種類

指定緊急避難場所兼指定避難所

指定緊急避難場所の条件を満たす施設のうち、想定される災害、人口の状況を勘案のうえ、良好な生活環境が確保でき、被災者が一定期間滞在することができる施設。

本洪水ハザードマップでは、洪水時の浸水想定区域内において、想定される浸水深より高い階層がある、避難可能な指定避難所及び指定緊急避難場所のみを掲載しています。

指定緊急避難場所

想定される災害に対して安全であり、災害発生のおそれがあるなど緊急の場合に、まず、一時的に身の安全を確保するための場所や施設。

右ページの折込みの内側にある、マイ・避難マップの見方を確認しましょう。

折込みを開いたままマップを開き、判定フローで判定しましょう。

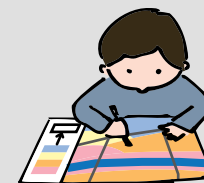
判定フローを開いたまま、マップを開く



マイ・避難マップの見方

いつ、どこに逃げるかを自身で考えてみてください。

- 1 この折込みのページを開いたまま、お住まいの地区のマイ・避難マップを開く。
- 2 マイ・避難マップ上で、自宅の位置の色と模様を確認する。
- 3 判定フローの質問項目に従って、自宅の危険性を判定する。
- 4 判定結果をもとに、あなたの避難行動を確認する。



- 5 親戚・知人宅や、避難所などの早い段階での避難先と、逃げ遅れてしまった時に命を守る場所を検討し、106～107ページのわが家の防災行動メモに記入する。



家族で相談して、マイ・タイムラインも記入しよう！

右の索引図で自宅のある地区を探し、該当ページの「マイ・避難マップ」を見てください！

マイ・避難マップ 判定フロー

- 1 マイ・避難マップ 26～97ページ で自宅を探しましょう。
- 2 自宅に色がかかっていたら、Q1から順にあてはまる答えの矢印に沿って進みましょう。

質問項目	質問内容	回答	判定結果
Q1	自宅に色がかかっていますか？ 高い水で、水浸しになる区域、木造は壊れる	はい いいえ	滞在不可 滞在可
Q2	自宅に色がかかっていますか？ 激しい流れで地面が削られて、家屋が倒壊するおそれがある区域、コンクリート造でも倒れる	はい いいえ	滞在不可 滞在可
Q3	自宅に色がかかっていますか？ 土砂災害で家が壊れたり、命の危険がある区域、土砂災害のおそれ	はい いいえ	滞在不可 滞在可
Q4	①自宅にかかっている色は？ ②自宅の階数は？	あずきいろ ピンク うすピンク うすうすい うすきいろ 色がついていない	8階以上 5階以上 3階以上 2階以上 1階 滞在可 滞在不可 滞在可 滞在不可 滞在可 滞在不可 滞在可

- 3 あなたの判定結果に○をつけ、避難行動を確認しましょう。

あなたの判定結果は？	あなたの避難行動は？
滞在可 ○	まずは避難を検討しましょう 自宅にとどまる場合には十分な備えを！ 避難に危険を感じたら無理に自宅外に避難しない
滞在不可 ×	命を守るために 必ず早めの自宅外への避難 が必要です 浸水後に自宅にとどまることはできません。 避難できる場所を探しておきましょう。

注意！

判定結果にかかわらず、災害時にはご自身の判断で行動してください

マイ・避難マップは、想定されたひとつのシナリオをもとに作成したもので、実際の洪水がそのとおりになるとは限りません。大雨時の情報や周辺の状況に注意をはらって、ご自身の判断で適切な行動を心掛けましょう。